

戦争を許さない女たちのJR連絡会



いのち輝く

私たちのピーストレイン



〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13 JR総連内 ☎ 03-3491-7191 JR 057-4596

JR浦和電車区事件・蒲郡駅事件

力いっぱい上告審での闘いを 勝利の日まで！

JR浦和電車区事件控訴審判決(2009年6月5日)は、不当にも第一審判決を維持する有罪判決となりました。この日から、上告審に向けた闘いが始まりました。

かつて松川事件で第二審から弁護団に加わった後藤昌次郎弁護士は、その経験を生かし、いまJR浦和電車区事件の弁護団長として裁判闘争をリードされていますが、「この事件は松川事件以上の弾圧事件だ」と言われました。7人が突然逮捕された時、私たちは「正当な組合活動であり、長くかかる事件ではない」との思いを持ちましたが、事件から7年もの長い闘いを経たいま、後藤弁護士の示した言葉の意味をあらためて実感することとなりました。

裁判では、東京地裁も東京高裁

も、JR浦和電車区事件の真実を見抜き、裁くことはありませんでした。「内から壊せないから外から壊す」と取り調べの刑事が語ったこと、被害者のY君が「被害届は警察官が書いた」と語ったことに、真実が見え隠れしています。社会正義を貫き、平和運動・労働運動を真剣に闘ってきたJR総連への弾圧事件が、権力

者によってつくられたという真実です。勤労者の団結権が権力の介入によって奪われて良いのか、今もって裁判で争わなければならない司法の現実を許して良いのか、私たちは上告審の闘いで強く訴えていかなければなりません。JR浦和電車区事件は全ての労働者への弾圧であり、憲法に保障された団結権の侵害であることを。



不当判決を許さず闘う美世志会

日本の裁判官約3,500人の大多数が、「上命下腹」で上(権力)ばかり見て社会に向けてものを言わない「ヒラメ裁判官」と揶揄される状況にあります。真実を語り、確信を持って、美世志会の仲間たちとともに闘いをあげましょう。多くの人々がこの事件を自らの問題として捉えたとき、JR浦和電車区事件の“勝利”は現実のものとなるはずで

蒲郡駅事件控訴審 許せない名古屋高裁の不当判決!!



10月5日、名古屋高裁は加藤さんに対し「控訴棄却」を言い渡しました。何という不当判決でしょう。たった1分10秒で、書庫の鍵を開け窃取されたという文書のみを探しだし、その文書・書庫などには一切指紋をつけずにコピーすることができるのか…このことが最大の争点なのに。いったい推定無罪という司法の根幹はどこに行ったのでしょうか。しかも会社は、検察庁が起訴をする前に加藤さんを懲戒解雇。まさにでっち上げられた蒲郡駅事件です。

さて当日、加藤さんの奥様より参加者一人ひとりに250個もの手作りティッシュ入れが配られました。解雇から2年の悔しい思いや仲間に対する思いなど、いろんな思いを込めて作られたのだと思います。

一審判決の時の奥様の涙も忘れません。加藤さんの完全無罪を勝ち取り、1日も早い職場復帰を勝ち取るために私たちも共に闘います。 おりづるの会 C.I



闘いの歌

「私たちの」
鳩(トビ)のついでに
旗(ハタ)はためがして
眼(メ)はへるつとあげて
口(クチ)いつぱひらげ
歌(ウタ)うたう
闘(たたか)いさ行くんだと
女(メ)つものア 強(つよ)なア

大淵慶逸



☆女たちの学習会☆

高麗博物館を訪ねて

9月5日(土)新宿区・大久保の高麗博物館に女たちの希望者8名で見学に行きました。高麗博物館は2001年12月に市民の手によってオープンし、日本と朝鮮半島の歴史を正しく理解しようとこれまで様々な企画・展示を行われてきたそうです。下記に紹介している本の著者・宋富子(ソン・プジャ)さんが名誉館長を務めています。常設展示と特別展示コーナーがあり、この日は特別企画展として「失われた朝鮮文化遺産」が催されていました。宋富子さんのおはからいで、私たちは、日本大学国際関係学科・講師の李素玲(イ・ソリョン)先生の説明を聞くことができました。

植民地時代に数多くの美術品・文化財が朝鮮半島から持ち出され、現在も日本の美術館、博物館に約2万9千点あるといわれています。1965年の日韓基本条約の時に一部返還されましたが、多くはまだ戻っていません。戦後返還された文化財は8000点余りに過ぎず、その多くは民間によるものです。その一つに「新羅人の微笑」という有名な素焼瓦があります(右)。個人の好意よっての返還は度々韓国では大きなニュースとなりますが、日本では全くといっていいほど報道されていないことでした。

こんなにも多くの文化財が植民地時代に略奪という



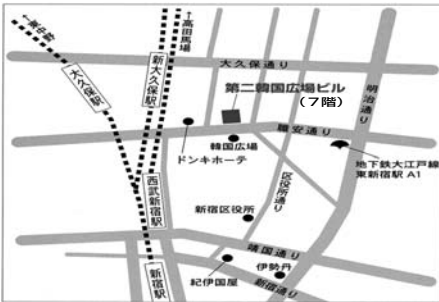
熱心に李素玲さんの話を聞く「女たち〜」

形で持ってこられたと知ってショックを受けました。李先生が最後に「チェジャリ(あるべき場所)への帰還」が望ましいと言いました。歴史の中に生産され、人々の願い・目的のもとにつくられた歴史の遺産。あるべき場所、本来の位置にもどることがその遺産の願いではないかと感じました。

JR山手線・新大久保駅から徒歩8分というアクセスの良い場所にあります。特別企画展「失われた朝鮮文化遺産」は11月29日(日)までやっていますので興味のある方はぜひご覧になってください。



「新羅人の微笑」



宋さんの講演を聞いて

差別される側のお話しを聞き、胸が痛くなりました。差別ゆえに小さく縮こまっていた宋さんが、家族や周りの人たちの愛にかれ、人間らしく生きていくことと変わっていく姿に、勇気ももらいました。

(東芳組 A.S)

BOOK紹介

奈良県の被差別部落の中で在日二世として生まれ、子どもの時から「チョーセン人」という言葉を浴び、差別の白い眼に打ちのめされた。「人を殺すには刃物は要らない。白い眼で見るだけでいい」と言う。彼女は何度も自殺を試みた。社会人になっても差別に脅え22回転職。そんな暗い青春時代だったが、31歳で転機は訪れた。息子の保育所で出会った牧師の言葉によって、初めて自分を見つめ誇りを取り戻す。在日の歴史を学び、差別のない社会を創る、正しい歴史を伝えるという使命に目覚め立ちあがる。幾重にも立ちはだかる壁を一つ一つ越えて、その経験と思いを伝えるために一人芝居をはじめ全国を駆け回った。チェ・ゲバラの「革命は一人から」という言葉は宋富子さんの実感でもある。



『愛するときに、奇跡は創られる』[在日三代史] 語り▽宋富子 (三一書房 定価1900円+税)

▲8月29日、国立市で行われた宋富子さんの講演を聞いた女たちのメンバーからのひとこと



エンジェル平和研修in南房総



貧富の差が大きいほど戦争への衝動が大きくなると言われています。戦争へのきな臭さが増す今日、「エンジェルの原点である平和運動の糧にしよう」と

の思いで南房総の戦争遺跡を見学しました。

10月3日～4日、千葉9条連の会員でNPO法人「安房文化遺産活用フォーラム」副理事・鈴木政和さんと事務局・林久子さんに案内していただきました。

赤山地下壕～かいた婦人の村・噫（ああ）従軍慰安婦の碑～戦闘機用掩体壕～米占領軍本土初上陸地点～東京湾要塞犬房岬砲台跡を見学しました。

館山市の文化財指定赤山地下壕は、全長約1.6km。1930年（昭和5年）海軍5番目の実戦航空部隊として館山海軍航空隊が作られました、内部には病院跡や発電所跡など生活拠点があり、戦争前の昭和10年代初めから掘り始め、未完成のまま使いながら掘って使っていました。戦争が起きてから物を作っては間に合わ

ないため、平和な時から準備されていたのです。

「かいた婦人の村」では、自ら従軍慰安婦体験を告白したひとりの女性の一通の手紙「石のさけび」を受けて、昭和40年に、1本の檜の柱を建て、翌年、「噫（ああ）従軍慰安婦」と刻まれた石碑が建立されました。当時の寮生は、自給自足で家族のように暮らしていたそうです。

今回の平和研修では鈴木さんの熱意で、南房総の歴史と戦跡を追体験し、二度と戦争は起こしては行けないと、平和の尊さを実感しました。そして、未来永劫、憲法9条を守り平和な社会を守ろうと誓い合いました。

エンジェルM・F

◇ 行こうヨ！千葉遺産 ◇

かいた婦人の村はJR館山駅からバスで「市営住宅前」下車、徒歩7分。

毎年、終戦記念日の8月15日に鎮魂祭を行っています。同市のNPO法人「安房文化遺産フォーラム」が団体向けに、慰安婦碑を含めた館山市の戦争遺跡に関する平和学習ツアーを実施しています。

〈問い合わせ先〉

住 所：〒294-0036 千葉県館山市館山95
「小高記念館」

TEL&FAX：0470-22-8271



家族連れでにぎわった 第6回 ネイチャーフェスティバル

9月26日、創ろう「いのちの森」・守ろう「水源の森」をテーマに、神奈川県川崎市幸区・旧国鉄新鶴見操車場跡地でおこなわれた「NPO法人幸まちづくり研究会」と「NPO法人緑のダム北相模」の共催の「第6回ネイチャーフェスティバル」に、今年も「戦争を許さない女たちのJR連絡会」は参加・出店しました。

秋晴れとなった当日、市民ら約7,000人が来場しました。トレードマークのオレンジのタオルを頭に巻き、JR総連・武井委員長が焼く「骨付きフランク」400本、高崎の「下仁田こんにゃく」を使った「味噌田楽」180本も好評のうちに完売し、楽しい1日を過ごしました。




©HIRUTA



青空の下、心地よい汗を流しました

今年の集会は、高麗博物館名誉館長の宋富子さんをお招きし、講演をお願いします。身近なところにある差別や偏見に目を向け、ともに学び、平和・人権を守る人々の輪を拡げたいと考えています。また、平和・市民団体による物販も予定しています。

女たち 
12/5 全国集会
成功させよう

日 時： 2009年12月5日（土）13:00～18:00

12:00開場

場 所： 目黒さつき会館・大会議室

＊「かいた婦人の村」…丘の上に立つ教会で、社会から見捨てられた女性たちが一生安心して暮らせる婦人保護施設

ビルマ便り

No.2 ビルマに生まれて



人間は、何かを習い、教わり、覚えながら成長していく生き物であり、夢もあり、希望もあります。そこで一番望むことは「生きること」ではないでしょうか。日本人もビルマ人も、アメリカ人も同じ。まず生きていけば、これから先があると言えるのです。そして、人間として普通に生活し、生きていくために、厳しい時は自分を守る様々な方法を探すのも当たり前です。

ビルマでは、性別・年齢・宗教などにかかわらず、人間として生まれた時から自由を奪われています。日々の生活の中で、話したいことを話し、聴きたいことを聴き、習いたいことを習い、考えたいことを考え、実現するのは普通のこと。でも、その当たり前のことが禁止されれば、人間はどうなるのでしょうか。私たちは生まれてからずっと、数えられないほどのことを禁止されてきました。それを質問したり抗議したり文句を言えば、いつ命の危険が迫ってもおかしくない状態なのです。自分だけでなく、家族や周りにも影響してしまいます。そこで、生まれた国の言葉や習慣を捨て、色々な方法で色々な国に亡命するビルマ人は増え続けています。祖国を離れ、世界各地に移住した私たちがどんな思いでいるか、なかなか理解しにくいと思います。実際に、祖国を捨てなければ自分も周囲の人々も生きていけない状態に出会ったことがない日本の皆様に理解を求めるのは、大変難しいと思います。しかし、平和を必要とする国々の中で、私の国ビルマも、その国の一つであることをぜひ知っていただきたいのです。

イテッサン (東京在住)

映画紹介

カティンの森



アンジェイ・ワイダ監督作品

12月5日より岩波ホールにて上映

「カティンの森」事件は第2次大戦中の1940年春、ソ連内収容所に抑留されていたポーランドの将校約1万5千人が秘密裏に虐殺された事件。行方不明とされていたポーランド将校らの遺体が、1943年ナチス・ドイツに一時的に占領されたソ連のカティンの森で発見され、事件が発覚。しかし、ソ連共産党支配下のポーランドでは、逆にナチス・ドイツの虐殺行為とキャンペーンされ、真実は1990年まで封印されたままだった。

独ソの侵攻により二つの国に侵略され翻弄されたポーランドの人々の運命が重なる映画。ワイダ監督自身、父がこの事件の犠牲者であり、特別の思いを持つ。永遠に引き裂かれた家族の物語であり、亡き両親に捧げられた映画でもある。

(字幕・122分)

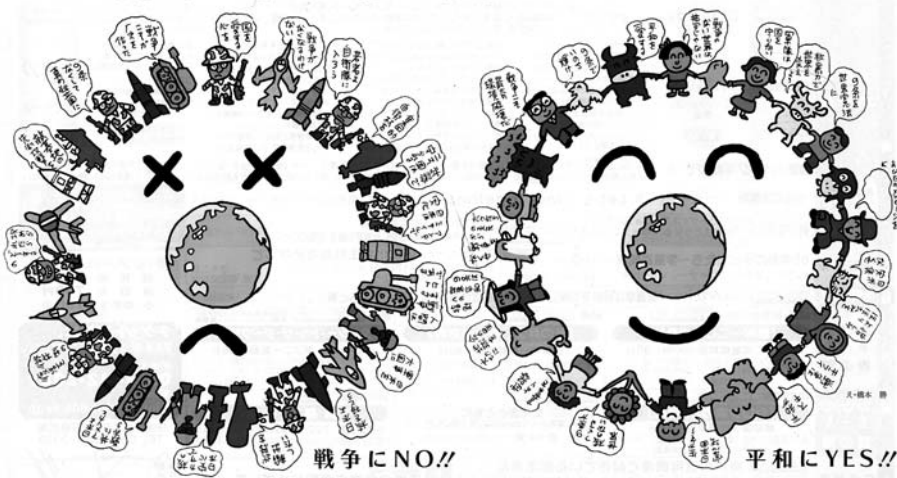


今年も「女たち〜」は参加します

—許すなえん罪!—

5th

輝け9条!世界へ未来へフェスティバル2009



と き : 2009年11月15日(日)
AM11:00~PM5:30 (開場AM10:30)

と ころ : 大田区産業プラザPiO

東京都大田区南蒲田1丁目20番20号

◆1日フリーパスチケット

前売券 500円
当日券 700円
小・中学生 100円
(前売・当日券とも)

チケット購入は、

FAX または メール でご連絡ください。

FAX

03-3442-2381

E-mail

9joren@ams.odn.ne.jp

9条フェスタ2009事務局
TEL 03-3442-2333



京急蒲田駅東口徒歩3分 JR蒲田駅東口徒歩13分